

【メインテーマ】

やつとつながった？
さあこれからだ！

あした
希望が見える熊本同友会

第15回 経営研究集会

日時 2010.11.12(金) ●受付/12:00 ●開会/13:00 ●閉会/21:00

会場 熊本全日空ホテルニュースカイ

熊本市東阿弥陀寺町2番地 TEL.096-354-2111

会場のご案内 <http://www.anahotel-kumamoto.com/access/index.html>

主催 熊本県中小企業家同友会

〒860-0834 熊本市江越2-1-7 TEL 096-379-8101 FAX 096-379-9102

E-mail jimu@doyu-kumamoto.gr.jp URL <http://www.doyu-kumamoto.gr.jp>

後援 熊本県・熊本市・八代市・玉名市・山鹿市・菊池市・宇城市・阿蘇市・合志市・大津町・熊本大学・熊本県立大学・熊本学園大学・東海大学・崇城大学・
熊本県信用保証協会・肥後銀行・熊本ファミリー銀行・熊本信用金庫・熊本第一信用金庫・熊本中央信用金庫・熊本県信用組合・熊本県工業連合会・
(財)地域流通経済研究所・(財)くまもとテクノ産業財団・熊本日日新聞社・NHK熊本放送局・RKK・TKU・FMK・KKT・KAB・FM791

どこへいった? 九州一の大都会!!

熊本の課題と希望(あした)

1889年、熊本市は全国の他の30都市と同時に日本で最初の市となりました。1900年に作られた鉄道唱歌(山陽・九州編)では「九州一の大都会」とまで歌われています。それから100年余、日本で最初に市制が敷かれた市の多くは政令指定都市に移行し、熊本市は九州一の大都会ではなくなりました。

しかし熊本は今、2011年3月の九州新幹線全線開業と2012年4月の政令指定都市移行というダブルチャンス、100年に一度の絶好のチャンスを迎えようとしています。全国の主要都市と直結する新幹線を地域づくりにどう生かすのか、特色ある政令指定都市づくりに向けて何をなすべきなのか、全国の他の地域の例も参考にしながら、熊本の未来について考えてみます。



講師 桑原 隆広 氏

熊本県立大学 総合管理学部 教授

プロフィール

1973年京都大学法学部卒。同年自治省入省。青森県、新潟県、静岡県に出向し、市町村自治、地域振興、財政などを担当。国土庁、消防庁では、国土計画、災害救助などの企画立案を担当。その後、自治省企画課長、市町村職員中央研修所副学長を務め、2006年熊本県立大学総合管理学部教授着任、現在に至る。

熊本同友会とは

中小企業家同友会は47都道府県に組織を有し、4万1千名の会員が加盟する経営者の団体で、どの政党や宗教団体にも属さない自助努力の会です。

熊本県中小企業家同友会は1982年に106名で創立し、現在700名を超える会員を擁する経営者団体として「よい会社」「よい経営者」「よい経営環境」をめざして日々活動しています。

経営研究集会とは

熊本同友会が創立して11年後の1993年に、初の全国行事である「第21回青年経営者全国交流会」を設営したのがきっかけで、全国レベルの学びの場をつくっていきこうと翌年1994年に第1回経営研究集会が開催されました。それ以降、中小企業の抱える様々な経営課題を多くの中小企業家の知恵とその具体的な実践事例を通じて解決するため毎年開催され今年で15回目を迎えます。

第1分科会 [経営指針]

経営者の責任 デフレに打ち勝て 生き残れ! ～戦略的経営改革の実践～

今後企業が生き残っていくためには、経営革新を進めなければならぬ。九州教具(株)の船橋修一社長は全国企業品質賞の中小企業部門で最優秀賞を受賞した。同社は、以前より主力業務の事務機・OA機器の販売が、今後さらに経営環境が厳しくなり、従来の手法では中小企業は生き残れなくなると予想。「顧客満足を追求するために自らサービス業を実践し、経験する必要がある」との信念から事務機器業界もホテル業界も顧客満足を追求実践する場としては同じという判断で、大手フランチャイズなどがひしめき、競争が激しく利幅も薄いホテル事業に進出した。徹底的な「社員満足」の追求こそが「顧客満足」の向上に他ならないという人間尊重の経営姿勢を語ります。



報告者 船橋 修一 氏

九州教具(株) 代表取締役
長崎同友会理事/中小企業家同友会全国協議会
企業変革支援プログラム検討プロジェクト委員

会社概要

創 業:1950年 資本金:6,000万円
社員数:100名 年 商:23億5千万円
文具・事務機販売業、情報システム
構築業、ビジネスホテル業
<http://www.q-bic.net>

第2分科会 [共育・共同求人]

共育ちの社風づくり

～よい会社・よい社員づくりは
自分達の手で～

熊本同友会入会2年目から理事を務め、代表理事、相談役理事を歴任した富永社長。企業経営と同友会運動は車の両輪であると学んできたつもりだったが、なかなか社内には取り入れることが出来ず“同友会学びのサイクル”にはほど遠かった。それが第1期社員共育大学を幹部社員と受講したことをきっかけに『社内共育大学』を開講、その年をアドルームの『共育元年』とした。共育の原点は社内共育そして土壌づくりにあるとの信念の元に、社内10則など社員の人格形成を図り、さらに“学習型企业”をめざすための様々な実践を交え、よい会社づくりに邁進中。



報告者 富永 寿彦 氏
(株)アドルーム 代表取締役
熊本同友会元代表理事

会社概要

創業:1975年 資本金:1,000万円
社員数:25名(内正社員19名) 年商:3億5千万円
イベント・セレモニーの企画・制作・運営
<http://www.adroom.co.jp>

第3分科会 [中小企業の役割]

リーマンショックから 今日までの日本経済を語る

～これからの地域経済の発展のために私達がすべき事～

バブル崩壊後、大店法改正などの大幅な規制緩和、ITバブルを経て、2008年9月ついに米大手証券会社リーマンブラザーズが倒産し、世界同時不況へと突入しました。経済至上主義の終焉を迎えようとしている中で、日本経済には何か起こっているのか？また、少子高齢化が急激に進んだ地域経済は疲弊し続け、ついには破たんする自治体まで出てしまっている。さらには第2、第3の予備軍までいるという。

このような中、「中小企業は、経済を牽引する力であり、社会の主役である」と冒頭に謳われた中小企業憲章が本年6月18日に閣議決定されました。これからの地域経済は？中小企業はどう進むべきなのか、中同協きつての論客である瓜田氏に大いに語っていただきます。



報告者 瓜田 靖 氏
中小企業家同友会全国協議会 政策局長

プロフィール

1954年青森県弘前市生まれ。早稲田大学法学部卒業後、1979年、東京中小企業家同友会事務局に入局。2001年より中同協事務局。2005年より現職。
<http://www.doyu.jp>

第4分科会 [地球環境]

企業が変わり 熊本が変わる為の 地球環境問題への取り組み!

～中小企業の役割と地域経営の実践～

「回復・復元」という意味を持つ社名「リバイブ」。それは、解体工事業と産業廃棄物処理業を通じて見えてきたものでした。今までの産業廃棄物の排出抑制や、適正処理をするだけでなく、地球環境と共生する企業として社会に貢献していくことへの社員との自覚からでした。自分たちの仕事から、地域への役割を形にしたいとの思いで、環境事業を創め、「循環型地域コミュニティづくり」や「食農循環システム」の構築へと積極的に取り組まれている実践報告をいただき、今、熊本に必要なこと、私たちに出来ることを考えていきます。



報告者 平沼 辰雄 氏
(株)リバイブ 代表取締役
愛知同友会副会長/中小企業家同友会全国協議会地球環境委員長

会社概要

創業:1964年 資本金:1,200万円
社員数:44名(内正社員27名) 年商:15億円
●産業廃棄物の収集運搬・中間処理
●建造物解体工事、土木工事
●環境共生機器販売・環境回復・復元企画施工
<http://www.revive.co.jp/>

第5分科会 [女性経営者]

熊本からつながる 幸せの種まき

～ご縁と本物を大切に～

商家に生まれ、景気・不景気の波に洗われた流転の中で、常に家族と向き合ってきた。不運なことが起こる度「なぜ自分に起こるのか？」自問自答。「あきらめようか」と思ったが父から「自分からご縁を切ってはいけないよ」と諭され、『わかり合えない理由は自分にあった』『不運にも意味がある』と気づきが。使う言葉が変わり、目の前の相手を鏡と違って過ごした年月の末、行き着いた答え【自然こそ師】。ご縁の末出会った自然栽培農家の『幸せになろうね』を、伝え続ける。私も自然界の一部、運も不運も全て受け入れ、産地熊本のこれから10年の持つ意味と、五感を大切に次世代に本物を引継ぎたい。始めること、終わることは易しいが、途絶えることのない継続こそが財産であると言う、人生と経営の理念が重なる報告者に、幸せと継続の意義を学びます。



報告者 反後 人美 氏
かねくら(株) 代表取締役社長

会社概要

創業:1950年 資本金:3,000万円
社員数:18名 年商:1億5千万円
不動産賃貸・管理・病院内保育園運営・売店経営・オーガニックショッピングモール運営
<http://www.eco-wing21.com/index.htm>

ご挨拶

「やっとながった？さあこれからだ！」を本年のテーマとして経営研究集会で学びます。中小企業憲章が制定され、九州新幹線全線開通・政令市移行など熊本が大きく変わろうとしています。私たち中小企業はどのように変革し、発展していかなければならないのかを問ひかけ、熊本の希望（あした）へ繋げることを学び合いたいと思います。基調講演には、熊本県立大学総合管理学部総合管理学科の桑原隆広教授をお招きしました。「どこへいった？九州一の大都会!!」と題し、私たちの熊本について興味深いお話を頂くことになりました。停滞する景気、『一国二経済』も危惧される今こそ、同友会会員同士の連帯や交流による気づきを活かし、中小企業を軸として熊本の地域経済の発展戦略を描くときです。明るく元気な企業、明るく元気な熊本を目指し、新しい仕事や雇用を創造していくために大いに語り合おうではありませんか。私たち実行委員会は、会員、ゲスト、多くの皆様のご参加を心待ちにしております。



第15回
県経営研究集会
実行委員長
内野 静子

当日の タイム スケジュール	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
	受付	開会	第1部 基調講演 13:00~14:50	移動・ 分科会 受付		第1部 分科会 15:30~18:30		移動・ 懇親 パーティー 受付	第2部 懇親パーティー 19:00~21:00	閉会



中小企業家同友会の3つの目的

1.よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2.よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3.よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも連携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

参加申込要項

- 申込方法 申込用紙に所定の事項をご記入の上、同友会事務局までFAXでお送りください。
- 申込先 熊本県中小企業家同友会
〒860-0834 熊本市江越2-1-7
TEL 096-379-8101/FAX 096-379-9102
- 申込締切 2010年11月5日(金)
※上記日付までにお申込みの方が、参加名簿に記載となります。ご了承ください。
- ※11月6日(土)からのキャンセルはできかねますので、代理の方の出席をお願いいたします。
- 参加費 3,000円(第1部研究集会参加)
5,000円(第2部懇親パーティー参加)
※1部2部両方参加の場合は8,000円となります。

- 参加費支払区分
 - 銀行振込
(申込締切日までにお振り込み願います。なお、振込手数料はご負担願います。)
 - 現金
 - 会費口座からの振替(会員のみ)
- ※当日の受付をスムーズにするために、会員の皆様には極力3でお願いたします。
- 参加費振込先
 - 熊本ファミリー銀行南熊本支店 口座番号 普通No.0009790
口座名 熊本県中小企業家同友会
 - 肥後銀行南熊本支店 口座番号 普通No.1148695
口座名 熊本県中小企業家同友会

〈キリトリ〉

参加申込書

熊本県中小企業家同友会御中 第15回経営研究集会に参加を申し込みます。 [いずれかに○を
お付けください] 月 日

分科会(数字を記入)		懇親 パーティー	フリガナ 氏 名	企業名(TEL / FAX)	所 属	役 職
第1希望	第2希望					
分科会	分科会	参加 不参加		TEL FAX	支部・ゲスト	
分科会	分科会	参加 不参加		TEL FAX	支部・ゲスト	

参加費のお支払い方法

[いずれかに✓をお付けください]

- 銀行振込(振込手数料はご負担ください) 現金 会費口座からの振替(会員のみ)

※本登録内容は、行事設営のために、熊本同友会の管理の下参加名簿等に活用されます。